

#### 7.9.4 予測及び評価

##### (1) 予測及び評価の手順

動物の予測手法の概要は、表 7-9-14 に、予測及び評価の手順は図 7-9-14 に示すとおりである。

表 7-9-14 動物の予測手法の概要

| 内容    |                 | 予測事項                | 予測地域    | 予測時期            | 予測方法          |
|-------|-----------------|---------------------|---------|-----------------|---------------|
| 工事の実施 | 造成等の施工による一時的な影響 | 重要な動物の生息環境の消失・改変の程度 | 事業計画地周辺 | 工事による影響が最大となる時期 | 現況調査結果等に基づく予測 |
| 存在・供用 | 最終処分場の存在        |                     |         | 埋立期間中から埋立完了時    |               |

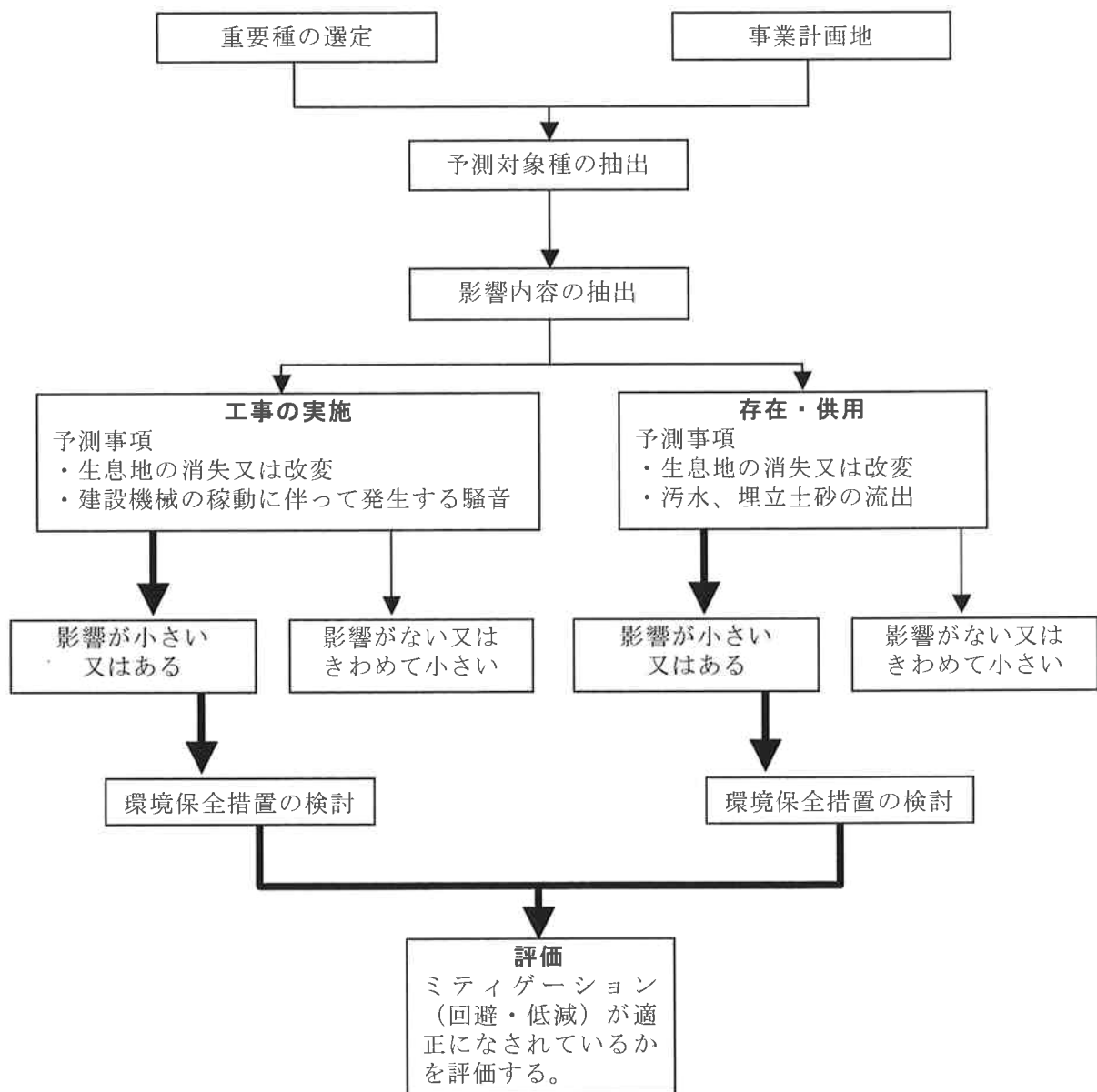


図 7-9-14 動物の予測及び評価のフロー図

## (2) 予測

### ①予測対象種の抽出

重要種に選定した動物種の生態的特徴から事業計画地及びその周辺における生息状況の推定を行い、事業計画に伴い影響が考えられる種を予測対象として抽出した。

その結果、哺乳類 1 種、鳥類 8 種、爬虫類 1 種、両生類 2 種、昆虫類 3 種を予測対象とし、その一覧は表 7-9-15 (1) ～表 7-9-15 (4) に示すとおりである。

表 7-9-15 (1) 予測対象種の抽出及び影響要因

| 影響要因等<br>種名 |                       | 調査結果 |      | 工事の実施                 |                           | 存在・供用                   |       | 生態的特徴                                                                    | 事業計画地及び<br>その周辺における<br>生息状況の推定                                                                                                      |
|-------------|-----------------------|------|------|-----------------------|---------------------------|-------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             |                       | 現地調査 | 既存資料 | は改変<br>生息地の消失又<br>は騒音 | 建設機械の稼動<br>に伴って発生す<br>る騒音 | は改変<br>生息地の消失又<br>土砂の流出 | 汚水、埋立 |                                                                          |                                                                                                                                     |
| 哺乳類         | ツキノワグマ                | —    | ●    | —                     | —                         | —                       | —     | 落葉広葉樹林（ブナ林）を中心に生息する。ブナ、ミズナラ、クリコナラ等の木の実、ササ類の新芽、ヒメザゼンソウの葉、アリやハチ等の昆虫類等を食べる。 | 事業計画地及びその周辺において、本種は確認されなかった。既存文献では本調査地周辺で記録されているが、事業計画地及びその周辺を主要な生息域としていることはほとんどなく、利用頻度は高いものではないと推定される。                             |
|             | イタチ属の一種<br>（イタチとした場合） | ●    | —    | ●                     | ●                         | ●                       | —     | 肉食の傾向が強く、水辺近くでネズミ類をはじめカエル、ヘビ、昆虫、カニ、魚類等を捕食している。                           | 事業計画地内では人工草地の 1 箇所で確認され、事業計画地外では林内や民家周辺の 3 箇所で確認された。本種の確認個体数は少ないが、事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。                                   |
| 鳥類          | ミサゴ                   | ●    | —    | —                     | ●                         | —                       | —     | 県内では留鳥として生息し、水辺近くの崖地または大木に営巣する。ある程度水深のある大きな河川で狩りを行い、魚類を主食とする。            | 確認数が少なく、本種の狩場となる水域が事業計画地周辺には認められないことから、本種は通過個体であると推定される。                                                                            |
|             | ハチクマ                  | ●    | —    | ●                     | ●                         | ●                       | —     | 県内では夏鳥として生息する。山林の大木に営巣し、山林またはその周辺の開けた場所で狩りを行う。ハチ類を主食とし、ヘビ、小型鳥類等も食べる。     | 渡りの時期に当たる 5 月及び 9 月に事業計画地の高空を飛翔する個体が確認されたのみであることから、本種は渡り途中の通過個体であると推定される。                                                           |
|             | オオタカ                  | ●    | —    | ●                     | ●                         | ●                       | —     | 県内では留鳥として生息する。山林の大木に営巣し、山林またはその周辺の開けた場所で狩りを行う。鳥類を主食とし、小型哺乳類等も食べる。        | 確認数が少なく、営巣地や繁殖に関わる行動等も確認されなかったことから、本種は事業計画地を行動圏の周辺部として利用している移動途中の通過個体であると推定される。                                                     |
|             | ハイタカ                  | ●    | —    | ●                     | ●                         | ●                       | —     | 県内では主に冬鳥として越冬し、主に山林で狩りを行う。鳥類を主食とし、小型哺乳類等も食べる。                            | 繁殖期に当たる 5 月～8 月は確認されなかったことから、本種は冬季の狩場として事業計画地及びその周辺を利用している越冬個体であると推定される。                                                            |
|             | ノスリ                   | ●    | —    | ●                     | ●                         | ●                       | —     | 県内では主に冬鳥として越冬し、山林またはその周辺の開けた場所で狩りを行う。小型哺乳類、両生・爬虫類、昆虫類、鳥類等を食べる。           | 繁殖期に当たる 4 月～9 月は確認されなかったことから、本種は冬季の狩場として事業計画地及びその周辺を利用している越冬個体であると推定される。                                                            |
|             | サシバ                   | ●    | —    | ●                     | ●                         | ●                       | —     | 県内では夏鳥として生息する。山林の大木に営巣し、開けた場所で狩りを行う。小型鳥類、両生・爬虫類、昆虫類等を食べる。                | 調査範囲外で 2 つがいの繁殖を確認。確認された行動範囲は事業計画地に一部重なるが、事業計画地内では巣材運び、交尾等の繁殖に関わる行動や幼鳥は確認されなかったことから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。 |

注) 1. 予測対象となる動物種を  で示した。

表 7-9-15 (2) 予測対象種の抽出及び影響要因

| 種名 | 影響要因等   |      | 調査結果        |                                                | 工事の実施                                                                             |             | 存在・供用                                          |                                                | 生態的特徴                                                                                      | 事業計画地及びその周辺における生息状況の推定                                                                                                                          |
|----|---------|------|-------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 現地調査    | 既存資料 | は<br>改<br>変 | 生<br>息<br>地<br>の<br>消<br>失<br>又<br>は<br>改<br>変 | 騒<br>音<br>に<br>伴<br>っ<br>て<br>発<br>生<br>す<br>る<br>建<br>設<br>機<br>械<br>の<br>稼<br>動 | は<br>改<br>変 | 生<br>息<br>地<br>の<br>消<br>失<br>又<br>は<br>改<br>変 | 汚<br>水<br>、<br>埋<br>立<br>土<br>砂<br>の<br>流<br>出 |                                                                                            |                                                                                                                                                 |
| 鳥類 | ハヤブサ    | ●    | —           | ●                                              | ●                                                                                 | ●           | —                                              | —                                              | 県内では留鳥として生息する。崖地または大型鳥類の古巣に営巣し、開けた場所で狩りを行う。鳥類を主食とし、小型哺乳類等も食べる。                             | 調査範囲外で 1 つがいの繁殖を確認。確認された行動範囲は事業計画地に一部重なるが、事業計画地内では巣材運び、交尾等の繁殖に関わる行動や幼鳥は確認されなかったことから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期及び非繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。       |
|    | ヤマドリ    | ●    | —           | ●                                              | ●                                                                                 | ●           | —                                              | —                                              | 県内では留鳥として山地の良く茂った林に生息し、沢沿いの暗い林に多い。巣は林の中の地上に造り、植物や昆虫類、クモ類等を食べる。                             | 事業計画地周辺の林内で姿またはドラミング等を 4 箇所を確認し、産卵期に当たる 4 月にも確認されていることから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。                                         |
|    | ホトトギス   | ●    | —           | ●                                              | ●                                                                                 | ●           | —                                              | —                                              | 県内では夏鳥として生息する。主にウグイスに托卵する習性を持つ鳥類であるため、生息地はウグイスの生息地と一致し、ササ藪のある山林等に生息する。昆虫類を主食とし、チョウ類の幼虫を好む。 | 繁殖期に当たる夏季に雄のさえずりが事業計画地内及びその周辺の 4 箇所を確認され、主な托卵相手であるウグイスも繁殖期に当たる春季及び夏季に事業計画地内及びその周辺で確認されている。このことから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。 |
|    | フクロウ    | ●    | —           | ●                                              | ●                                                                                 | ●           | —                                              | —                                              | 本種は夜行性で、県内には留鳥として林内に生息する。大木の樹洞、鳥類の古巣、壁の穴や地上に営巣する。狩りも林内で行い、夜行性の小型哺乳類等を主に捕食する。               | 事業計画地周辺の林内でさえずりが 4 季を通して 8 箇所を確認され、産卵期に当たる 3 月及び 5 月にも確認されていることから、本種は事業計画地周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。                                    |
|    | アカショウビン | ●    | —           | ●                                              | ●                                                                                 | ●           | ●                                              | ●                                              | 県内では夏鳥として渓流または小さな湖沼のある谷間の林内に生息し、樹洞や崖の洞穴を使って営巣する。小魚、サワガニ、両生類、昆虫類等を捕食する。                     | 事業計画地内の林内で繁殖期に当たる 6 月に 1 箇所ですえざりが確認された。本種は確認箇所数が少なく、営巣地、幼鳥等は確認されなかったことから、本種は事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。                        |
|    | オオアカゲラ  | ●    | —           | ●                                              | ●                                                                                 | ●           | —                                              | —                                              | 県内では留鳥として大木のある林内に生息し、枯木に穴を掘って営巣する。採食も枯木で行われることが多く、枯木を掘ってアリ類、甲虫の幼虫等を食べる。                    | 調査範囲外の林内で繁殖期に当たる 6 月に 1 箇所のみ確認された。本種は確認数が少なく、事業計画地からも 500m 以上離れているため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。                                                    |
|    | サンコウチョウ | ●    | —           | ●                                              | ●                                                                                 | ●           | —                                              | —                                              | 県内では夏鳥として山地の暗い林内に生息し、暗い林内の枝の付け根に営巣する。採食も林内で行い、飛びながら主にハエ、ハチ、チョウ等の飛翔性昆虫類を捕まえる。               | 事業計画地外の林内で、繁殖期に当たる 6 月及び 7 月に 1 箇所ずつ確認された。本種は事業計画地内では確認されず、確認箇所はいずれも事業計画地から約 250m 以上離れているため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。                             |

注) 1. 予測対象となる動物種を ..... で示した。

表 7-9-15 (3) 予測対象種の抽出及び影響要因

| 種名  | 影響要因等       | 調査結果 |      | 工事の実施                |                           | 存在・供用                   |       | 生態的特徴                                                                                                 | 事業計画地及びその周辺における生息状況の推定                                                                                                                  |
|-----|-------------|------|------|----------------------|---------------------------|-------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |             | 現地調査 | 既存資料 | は改変<br>生息地の消失又<br>騒音 | 建設機械の稼動<br>に伴って発生す<br>る騒音 | は改変<br>生息地の消失又<br>土砂の流出 | 汚水、埋立 |                                                                                                       |                                                                                                                                         |
| 爬虫類 | トカゲ         | ●    | —    | ●                    | —                         | ●                       | —     | 昼行性で、庭先や畑、道路わきの斜面、林縁部に生息している。ミミズ、クモ、ワラジムシ、コオロギ等を食べる。                                                  | 事業計画地内では建造物の下で 1 個体が確認され、事業計画地外では道路や林内で 2 個体が確認された。本種の確認個体数は少ないが、事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。                                        |
| 両生類 | ブチサンショウウオ   | ●    | —    | —                    | —                         | —                       | —     | きれいな水が流れる小渓流に生息する小型サンショウウオ。ニッポンヨコエビなどを食べるが、共食いもする。                                                    | 事業計画地外において溪流の源流域で成体が確認された。本種の確認個体数は少ないが、事業計画地及びその周辺の溪流を生息地にしてしていると推定される。                                                                |
|     | イモリ         | ●    | —    | ●                    | —                         | ●                       | —     | ため池や農薬に汚染されていない水田等、止水域に生息している。ボウフラ、ミジンコ、水生昆虫、オタマジャクシ等を食べる。                                            | 事業計画地では林縁部で 2 個体が確認され、そのうち 1 個体が改変区域内で確認された。また事業計画地外では水田や放棄された水田周辺で多く確認された。確認個体数から改変区域（計画）の生息数は少ないと予想され、本種の主要な生息地は事業計画地外であると推定される。      |
|     | トノサマガエル     | ●    | —    | —                    | —                         | —                       | —     | 水田とその周辺部の草むらで生息している。繁殖を終えると、近くの畑や草むらの中で生活し、地下水が上がってこない土中で冬眠する。成体は大きなミミズ、ムカデ、クモ、昆虫、同種の幼ガエル、アマガエル等を食べる。 | 事業計画地外の水田周辺及び林内で確認された。本種は事業計画地内では確認されていないことから、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。                                                                   |
|     | シュレーゲルアオガエル | ●    | —    | ●                    | —                         | ●                       | —     | 水田や池や湿地に生息する。幼生は近くの水田等で成長し、水田近くの土中やコケの下で冬眠する。成体は鱗翅類の幼虫等を食べる。                                          | 事業計画地内では林内や林縁部で 3 個体が確認され、そのうち 2 個体が改変区域（計画）で確認された。また事業計画地外では水田周辺や林縁部で多く確認された。確認個体数から改変区域（計画）の生息個体数は少ないと予想され、本種の主要な生息地は事業計画地外であると推定される。 |
| 昆虫類 | カヤキリ        | ●    | —    | —                    | —                         | —                       | —     | ススキやヨシ等の丈の高い草地に生息する。                                                                                  | 事業計画地外のススキ草地で確認された。改変区域には生息地となるススキ草原はないため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。                                                                       |
|     | トノサマバッタ     | ●    | —    | ●                    | —                         | ●                       | —     | 河原や空き地、墓地、造成地等改変された土地に生息する。                                                                           | 事業計画地内では秋季と夏季に人工草地において成虫が確認され、事業計画地外でも秋季と夏季に水田や草地周辺で成虫が確認された。改変区域（計画）では本種の生息地となる人工草地等食草となるイネ科等の生育している場所はないため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。    |

注) 1. 予測対象となる動物種を [ ] で示した。

表 7-9-15 (4) 予測対象種の抽出及び影響要因

| 種名   | 影響要因等    | 調査結果 |      | 工事の実施 |            |                   | 存在・供用 |               | 生態的特徴                                                                                    | 事業計画地及びその周辺における生息状況の推定                                                                                                                                                                                        |
|------|----------|------|------|-------|------------|-------------------|-------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      |          | 現地調査 | 既存資料 | は改変   | 生息地の消失又は騒音 | 建設機械の稼動に伴って発生する騒音 | は改変   | 生息地の消失又は土砂の流出 |                                                                                          |                                                                                                                                                                                                               |
| 昆虫類  | ゲンジボタル   | ●    | ●    | ●     | —          | —                 | ●     | —             | 河川中・上流域に生息する。幼虫は流水中、成虫はその岸辺等で生息する。幼虫は水生で、カワニナ等の貝類を食べる。                                   | 事業計画地内では夏季に溪流付近の林縁部において 4 箇所を確認され、そのうち 2 箇所は改変区域（計画）であった。また、事業計画地外では夏季に溪流付近の林縁、水田周辺において 8 箇所を確認された。確認個体数から改変区域（計画）の生息数は少ないと予想され、本種の主要な生息地は事業計画地外であると推定される。                                                    |
|      | ヘイケボタル   | ●    | —    | —     | —          | —                 | —     | —             | 流れのゆっくりした用水路、水田、池等に生息する。幼虫は水生で、モノアラガイ等の貝類を食べる。                                           | 事業計画地外で夏季に水田や休耕田周辺において成虫が確認された。改変区域には本種の生息地となる浅い止水域や流れのゆるやかな用水路が存在しないため、主要な生息地は事業計画地外であると推定される。                                                                                                               |
|      | ツマグロキチョウ | ●    | —    | ●     | —          | —                 | ●     | —             | 河川敷、堤防、湿地の周辺や田畑の畦道等に生息する。幼虫の採餌植物はカワラケツメイ（マメ科）のみが知られている。成虫は、マメ科、カタバミ科、キク科、スミレ科等の花蜜を好んで吸う。 | 事業計画地内外で秋季に人工草地や草地で成虫が確認された。植物調査から調査範囲内に幼虫の食草であるカワラケツメイは確認されておらず、また、本種の夏型個体を確認していないことから、確認個体は調査範囲外で発生した秋型の越冬前の移動分散途中の個体であると考えられる。事業計画地内外には、越冬地として利用することができる日当たりのよい斜面の環境が広く存在するため、主要な生息地は事業計画地内外に広く存在すると推定される。 |
| 魚類   | イシドジョウ   | —    | ●    | —     | —          | —                 | —     | —             | 河川上流の淵の周囲、特に大石の多いところに生息する。石面上の藻類や水生昆虫を食べる。                                               | 事業計画地及びその周辺において、本種は確認されなかった。既存文献では本調査地周辺で記録されているが、事業計画地及びその周辺の河川を主要な生息域としていることはほとんどないと推定される。                                                                                                                  |
|      | アカザ      | —    | ●    | —     | —          | —                 | —     | —             | 河川中流から上流下部の瀬の石の下や間に生息する。主に水生昆虫を食べる。                                                      | 事業計画地及びその周辺において、本種は確認されなかった。既存文献では本調査地周辺で記録されているが、事業計画地及びその周辺の河川を主要な生息域としていることはほとんどないと推定される。                                                                                                                  |
| 底生動物 | 選定されず。   | —    | —    | —     | —          | —                 | —     | —             | —                                                                                        | —                                                                                                                                                                                                             |

注) 1. 予測対象となる動物種を  で示した。

## ②工事の実施

各種動物の予測結果は表 7-9-16～表 7-9-26 に示すとおりである。

表 7-9-16 予測結果（哺乳類：イタチ属の一種）

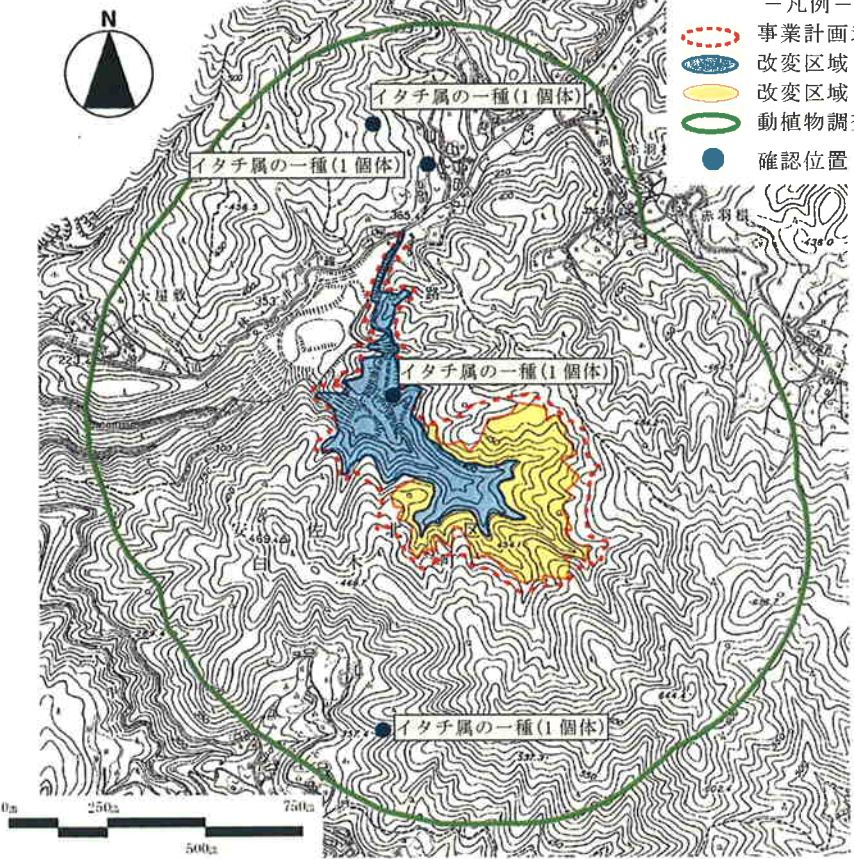
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>－凡例－</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域（現在）</li> <li>変更区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <p>事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>生息環境<br/>の質的変<br/>化</p>            | <p>イタチ属の一種は事業計画地及びその周辺を生息地として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改変<br/>工事の実施によりイタチ属の一種の生息地の一部を消失又は改変することになるが、本種は事業計画地及びその周辺で確認されており、事業計画地外の生息地は存続される。現状においても改変区域（現在）周辺を利用していると考えられるため、工事の実施により生息環境が変化することになる。しかし生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> <li>・建設機械の稼動に伴って発生する騒音<br/>改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で本種を忌避させることはない。また、本種が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、本種に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-17 予測結果（鳥類：ハイタカ、ノスリ）

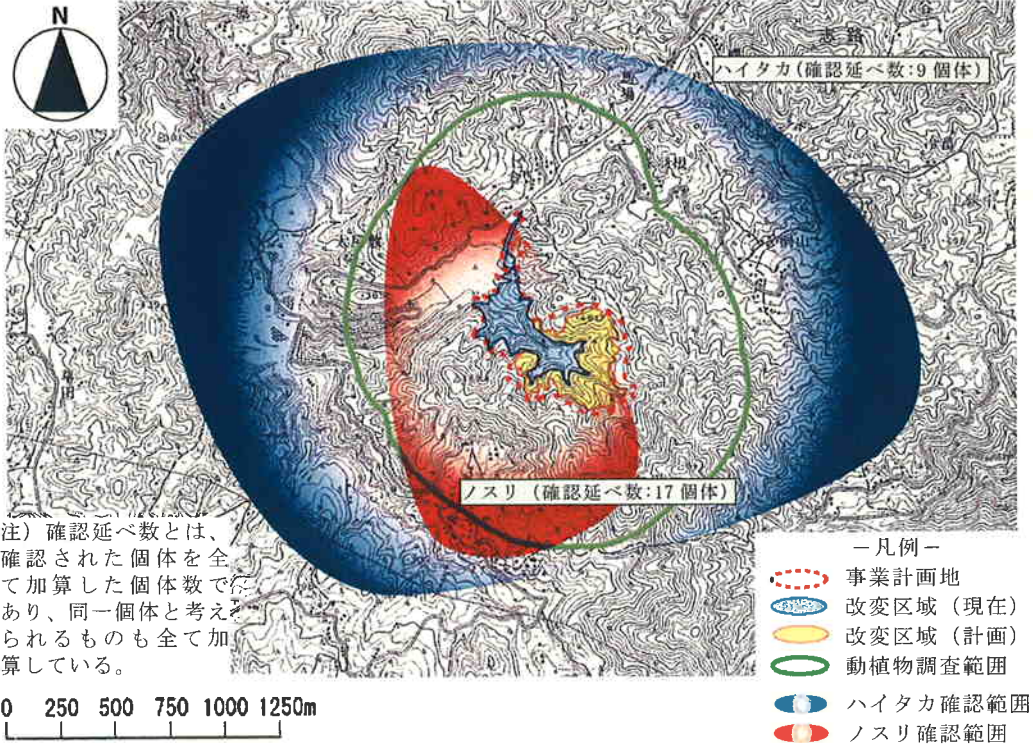
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>注) 確認延べ数とは、確認された個体を全て加算した個体数であり、同一個体と考えられるものも全て加算している。</p> <p>ハイタカ(確認延べ数:9 個体)</p> <p>ノスリ(確認延べ数:17 個体)</p> <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域(現在)</li> <li>変更区域(計画)</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>ハイタカ確認範囲</li> <li>ノスリ確認範囲</li> </ul>                                                                                                                                                                                            |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイタカ<br/>越冬個体であると推定される。</li> <li>・ノスリ<br/>越冬個体であると推定される。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>生息環境<br/>の質的変<br/>化</p>            | <p>ハイタカ、ノスリは事業計画地及びその周辺を狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改変<br/>工事の実施によりハイタカ、ノスリの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認され、確認範囲に対して消失する生息地、すなわち改変区域(計画)の面積は小さく、改変区域外には広く連続した生息地が残される。また、確認されたハイタカ及びノスリは越冬個体であり、事業計画地及びその周辺は繁殖期における主要な狩場としては利用されないが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> <li>・建設機械の稼動に伴って発生する騒音<br/>改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、両種に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-18 予測結果（鳥類：サシバ、ハヤブサ）

|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サシバ<br/>事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。</li> <li>・ハヤブサ<br/>事業計画地及びその周辺を繁殖期及び非繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>サシバ、ハヤブサは事業計画地及びその周辺を狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改変<br/>工事の実施によりサシバ、ハヤブサの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認され、確認範囲に対して消失する生息地すなわち改変区域（計画）の面積は小さく、改変区域外には広く連続した生息地が残される。また、サシバ及びハヤブサについては営巣地を確認しているが、いずれも調査範囲外であり、交尾等の繁殖に関わる行動や巣立ち後間もない幼鳥等の行動も主に調査範囲外で確認された。改変区域内では上空を飛翔する個体を数回確認しているが、いずれも通過個体であり、事業計画地及びその周辺は主要な生息地ではないと考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> <li>・建設機械の稼動に伴って発生する騒音<br/>改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、両種に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-19 予測結果（鳥類：ヤマドリ、フクロウ）

|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> | <div data-bbox="399 291 1372 1187"> <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>改変区域（現在）</li> <li>改変区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> </ul> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマドリ<br/>事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。</li> <li>・フクロウ<br/>事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>ヤマドリ、フクロウは事業計画地及びその周辺を営巣地または狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改変<br/>工事の実施によりヤマドリ、フクロウの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地内では確認されていない。また、改変区域（計画）からはヤマドリが約 150m 以上、フクロウが約 350m 以上離れているため、工事の実施により両種に与える直接的な影響はほとんどないと考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> <li>・建設機械の稼動に伴って発生する騒音<br/>改変区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、両種に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-20 予測結果（鳥類：ホトトギス）

|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> | <div data-bbox="391 280 1404 1164"> <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域（現在）</li> <li>変更区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> <li>変更区域（計画）で消失<br/>又は変更する生息地</li> </ul> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <p>事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>生息環境<br/>の質的変<br/>化</p>            | <p>ホトトギスは事業計画地及びその周辺を営巣地または狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は変更することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は変更<br/>ホトトギスは変更区域（計画）内の 2 箇所で確認されており、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は変更することになる。しかし、本種の主な托卵相手であるウグイスは調査地の広い範囲に比較的個体数も多く確認し、ウグイスの生息環境である林縁部の藪は森林を伐採した後に成立する二次的な環境であることから、事業計画地内には広く存在する。また、ホトトギス及びウグイスの主な餌である昆虫類は事業計画地及びその周辺において種数、個体数ともに多く確認されている。このことから、工事の実施が本種の個体数の減少、生息環境の悪化に直接繋がることは小さいと考えられるが、事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施し、本種の餌となる昆虫類の生息環境、托卵相手であるウグイスの生息環境を整備するため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> <li>・建設機械の稼動に伴って発生する騒音<br/>変更区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、本種に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-21 予測結果（鳥類：アカショウビン）

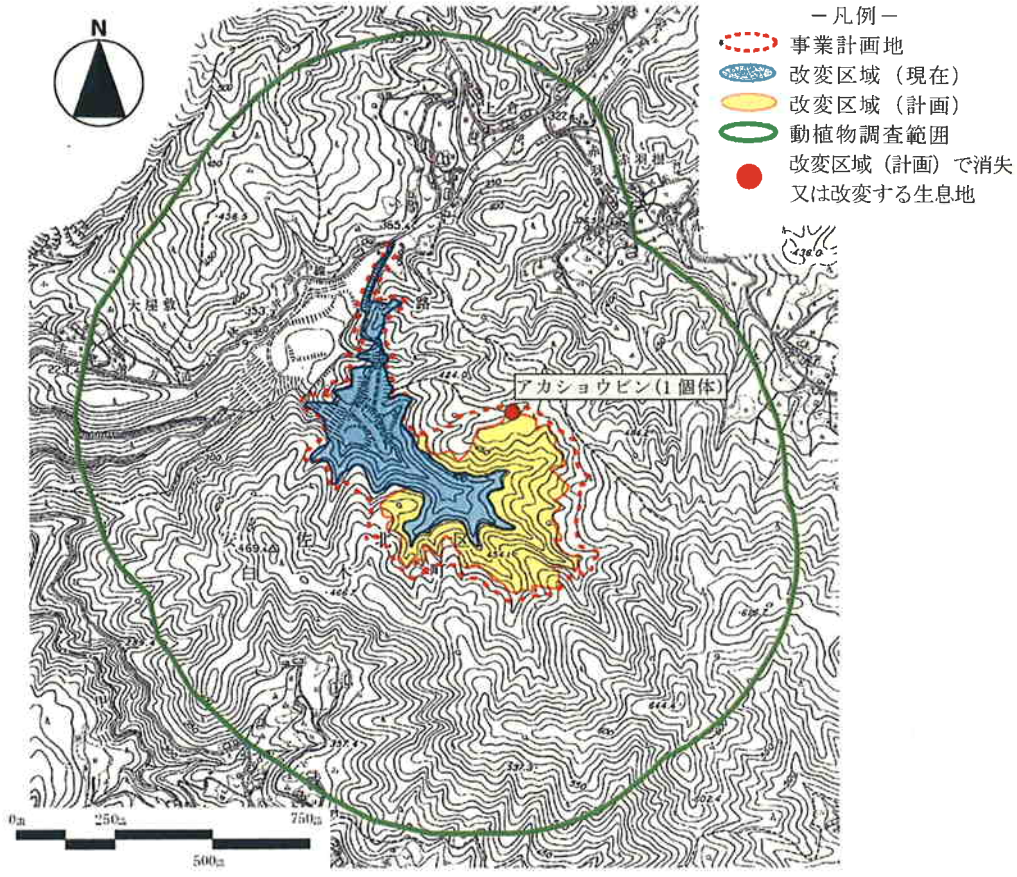
|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布と事業計画の重ね合わせ</p> |  <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>改变区域（現在）</li> <li>改变区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>改变区域（計画）で消失又は改变する生息地</li> </ul> <p>アカショウビン(1個体)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>生息状況の推定</p>         | <p>事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>生息環境の質的変化</p>       | <p>アカショウビンは事業計画地及びその周辺を狩場または移動経路として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改变することになる。また、建設機械の稼動に伴って発生する騒音によって事業計画地及びその周辺が一時的に利用されなくなる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>予測結果</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改变<br/>アカショウビンは事業計画地内の 1 箇所で確認され、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は改变することになる。本種は薄暗い谷沿いの林内に生息し、溪流等に生息するサワガニ、昆虫類等を食べる。そのため、渓流域における水質の変化は本種の生息環境に大きく影響するが、確認地点は改变区域（計画）より上流域に位置することから、水質の変化に伴う生息環境の悪化はないと考えられる。また、下流域は一部改变され生息環境が変化することになるが、植栽可能な法面等には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施し、林内環境の維持に努めることから本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> <li>・建設機械の稼動に伴って発生する騒音<br/>改变区域の掘削は発破等を使用せず、重機による掘削で行われるため、突発的な音で鳥類を飛散させることはない。また、鳥類が掘削による建設機械の稼動騒音により一時的に事業計画地を利用しなくなると考えられるが、現状においても重機は随時稼動しており、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮することから、本種に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-22 予測結果（爬虫類：トカゲ）

|                         |                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生息分布<br>と事業計画の<br>重ね合わせ | <div data-bbox="389 277 1404 1209"> <p>— 凡例 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域（現在）</li> <li>変更区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> <li>変更区域（計画）で消失<br/>又は変更する生息地</li> </ul> </div>          |
| 生息状況<br>の推定             | 事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。                                                                                                                                                                                                 |
| 生息環境<br>の質的変化           | トカゲは事業計画地及びその周辺の林縁部で生息しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は変更することになる。                                                                                                                                                                   |
| 予測結果                    | <p>・生息地の消失又は改変</p> <p>トカゲは変更区域（計画）内の1箇所を確認され、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は変更することになる。工事の実施に対する一時的な忌避行動が考えられるが、事業計画地及びその周辺には明るい林縁等の本種の生息環境は広く存続し、また生息環境の整備という観点から事業計画地における植栽可能な法面等に可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p> |

表 7-9-23 予測結果（両生類：イモリ）

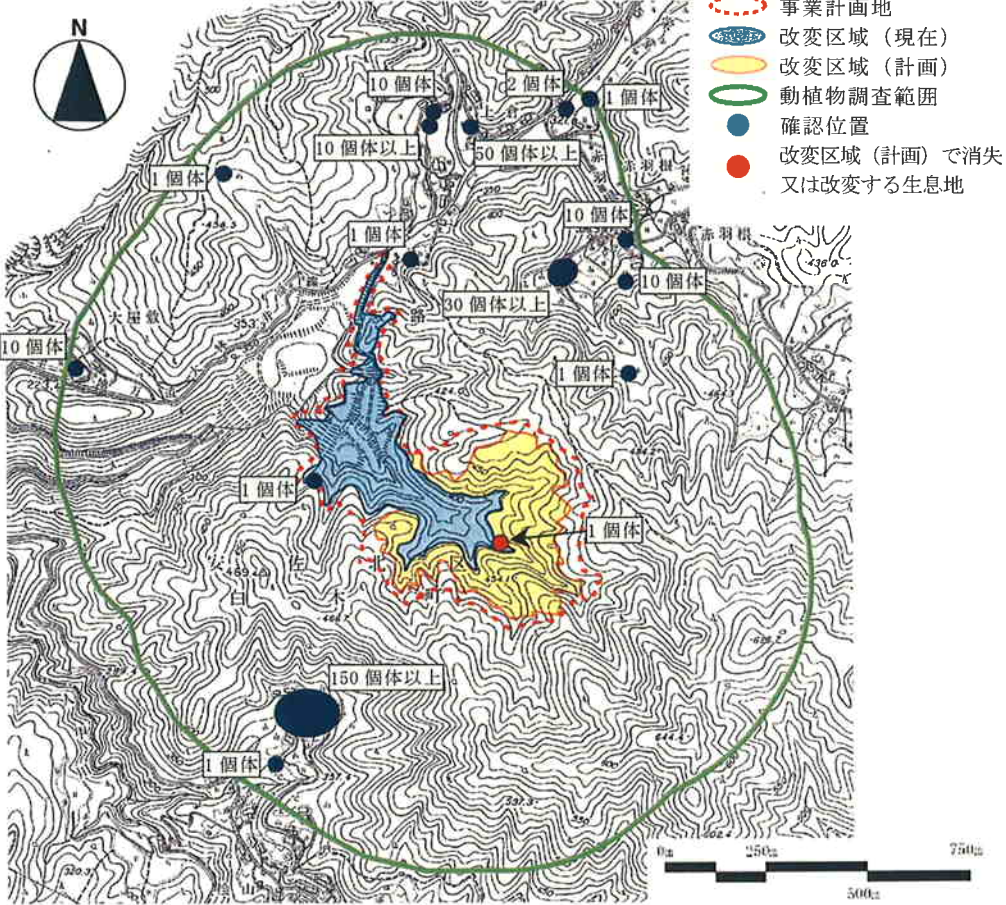
|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね合わせ</p> |                                                                                                                                                                            |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>              | <p>事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の水田周辺であると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                       |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>            | <p>イモリの生息地の一部は改変区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。</p>                                                                                                                                                                                               |
| <p>予測結果</p>                      | <p>・生息地の消失又は改変<br/>イモリは改変区域（計画）内の1箇所を確認されており、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地周辺の水田周辺と考えられることから、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p> |

表 7-9-24 予測結果（両生類：シュレーゲルアオガエル）

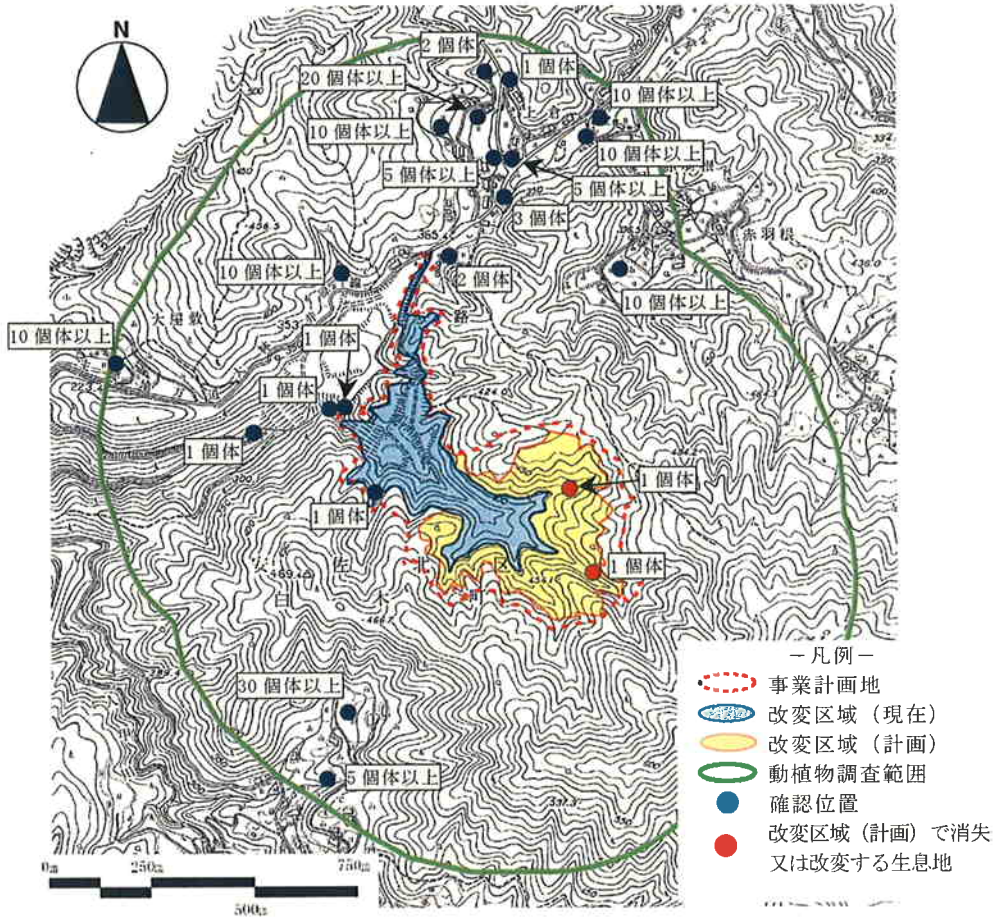
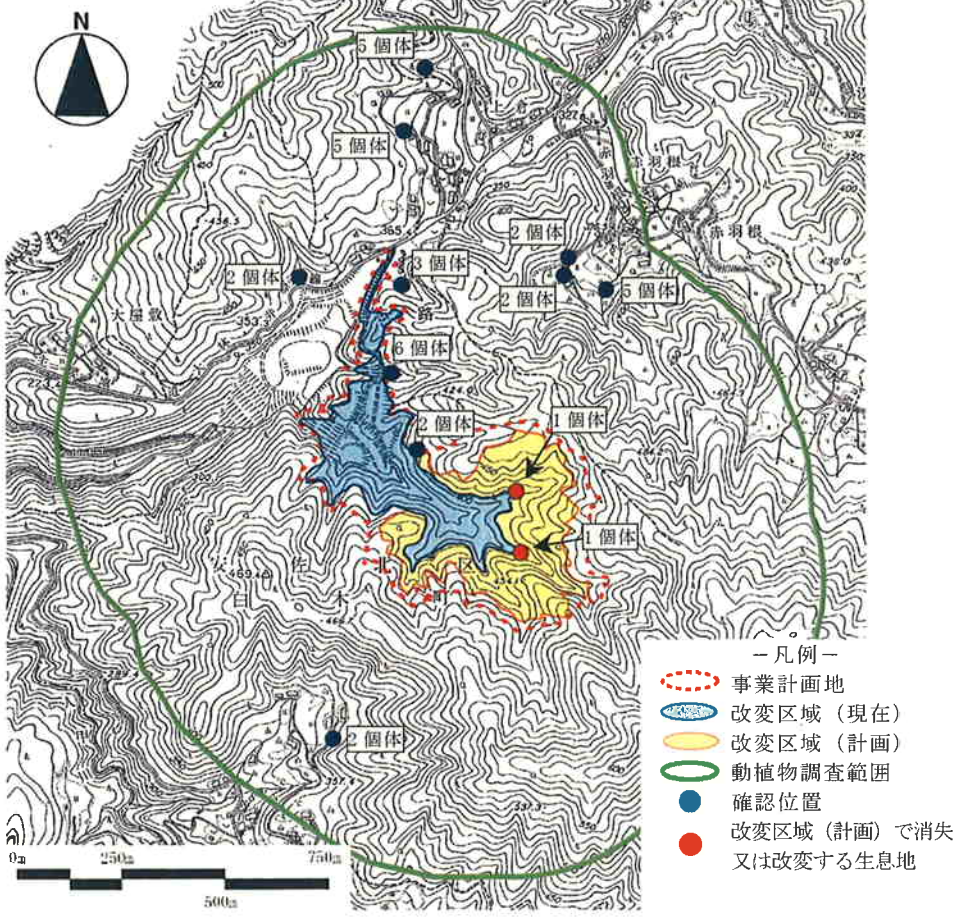
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |                                                                                                                                                                                           |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <p>事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の水田及びその周辺であると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>シュレーゲルアオガエルの生息地の一部は改変区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。</p>                                                                                                                                                                                                      |
| <p>予測結果</p>                           | <p>・生息地の消失又は改変<br/>シュレーゲルアオガエルは改変区域（計画）内の2箇所で確認されており、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地周辺の水田及びその周辺であると考えられることから、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p> |



表 7-9-26 予測結果（昆虫類：ゲンジボタル）

|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>— 凡例 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域（現在）</li> <li>変更区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> <li>変更区域（計画）で消失<br/>又は変更する生息地</li> </ul>                |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <p>・ゲンジボタル：事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の溪流付近の林縁、水田周辺であると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                        |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>・ゲンジボタルの生息地の一部は変更区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は変更することになる。</p>                                                                                                                                                                                                            |
| <p>予測結果</p>                           | <p>・生息地の消失又は変更</p> <p>ゲンジボタル：変更区域（計画）内の2箇所を確認されており、工事の実施により本種の生息地の一部を消失又は変更することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地外の溪流付近の林縁又は水田周辺であると考えられることから、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は変更される生息地の個体数は少なく、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p> |

### ③存在・供用

各種動物の予測結果は表 7-9-27～表 7-9-37 に示すとおりである。

表 7-9-27 予測結果（哺乳類：イタチ属の一種）

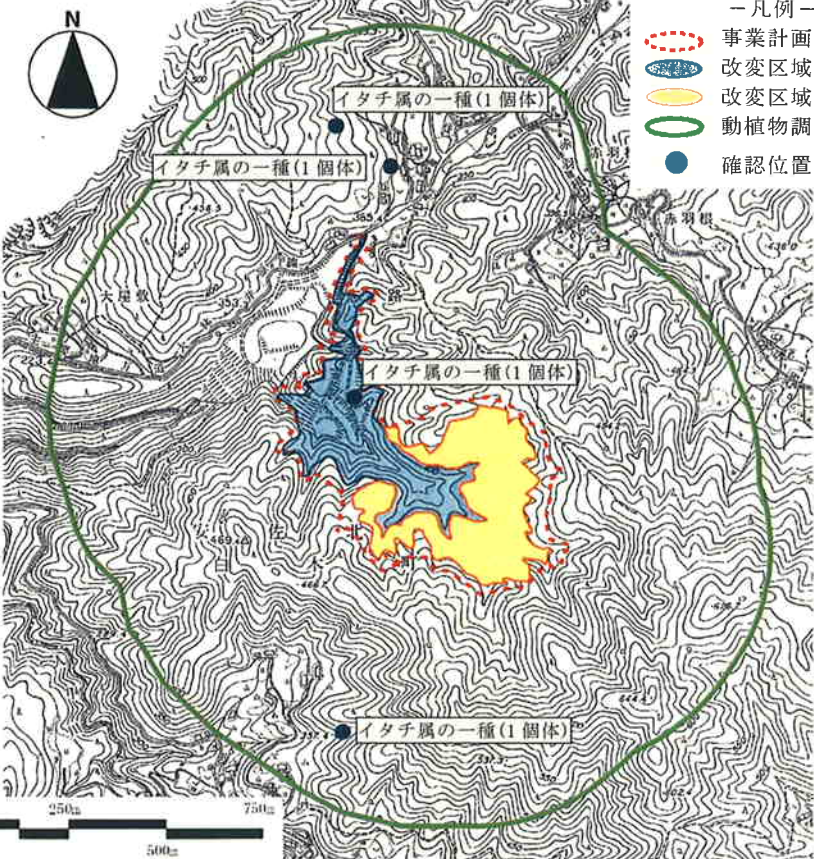
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>—凡例—<br/>         事業計画地<br/>         変更区域（現在）<br/>         変更区域（計画）<br/>         動植物調査範囲<br/>         確認位置</p>                                |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <p>事業計画地及びその周辺を生息地していると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                    |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>イタチ属の一種は事業計画地及びその周辺を生息地として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。</p>                                                                                                                                                           |
| <p>予測結果</p>                           | <p>・生息地の消失又は改変<br/>         処分場の存在・供用によりイタチ属の一種の生息地の一部を消失又は改変することになるが、本種は事業計画地及びその周辺で確認されており、事業計画地外の生息地は存続される。現状においても変更区域（現在）周辺を利用していると考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p> |

表 7-9-28 予測結果（鳥類：ハイタカ、ノスリ）

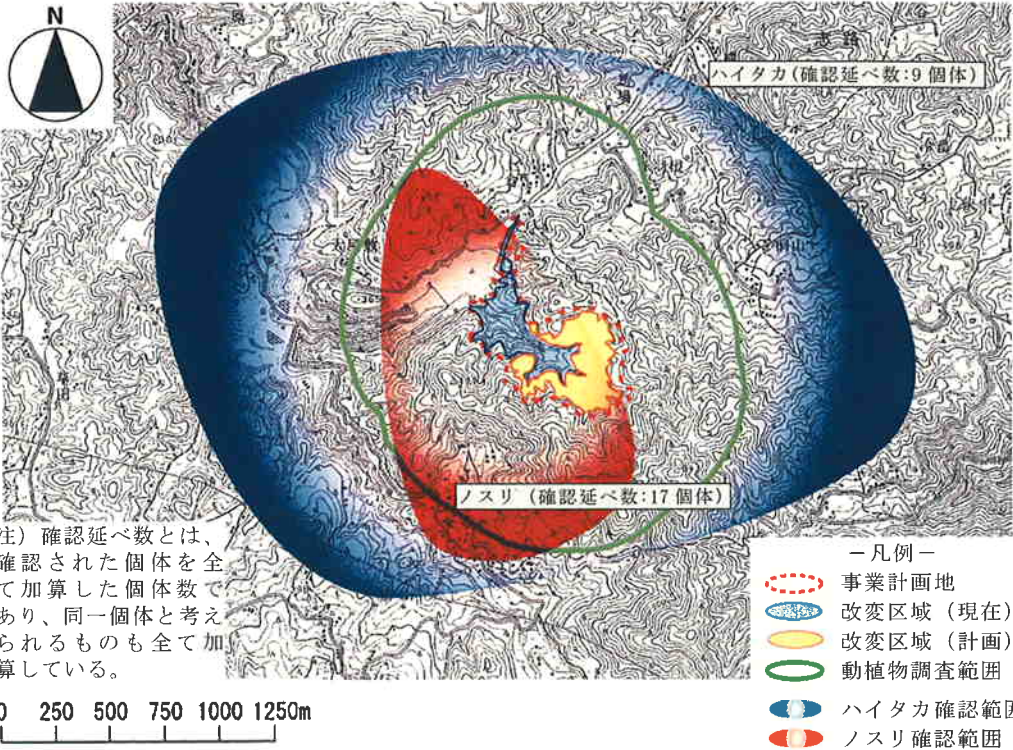
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>注) 確認延べ数とは、確認された個体を全て加算した個体数であり、同一個体と考えられるものも全て加算している。</p> <p>ハイタカ(確認延べ数:9 個体)</p> <p>ノスリ(確認延べ数:17 個体)</p> <p>— 凡例 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域 (現在)</li> <li>変更区域 (計画)</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>ハイタカ確認範囲</li> <li>ノスリ確認範囲</li> </ul> |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイタカ<br/>越冬個体であると推定される。</li> <li>・ノスリ<br/>越冬個体であると推定される。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>ハイタカ、ノスリは事業計画地及びその周辺を狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改変<br/>処分場の存在・供用によりハイタカ、ノスリの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認され、確認範囲に対して消失する生息地、すなわち変更区域（計画）の面積は小さく、変更区域外には広く連続した生息地が残される。また、確認されたハイタカ及びノスリは越冬個体であり、事業計画地及びその周辺は繁殖期における主要な狩場としては利用されないが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>                  |

表 7-9-29 予測結果（鳥類：サシバ、ハヤブサ）

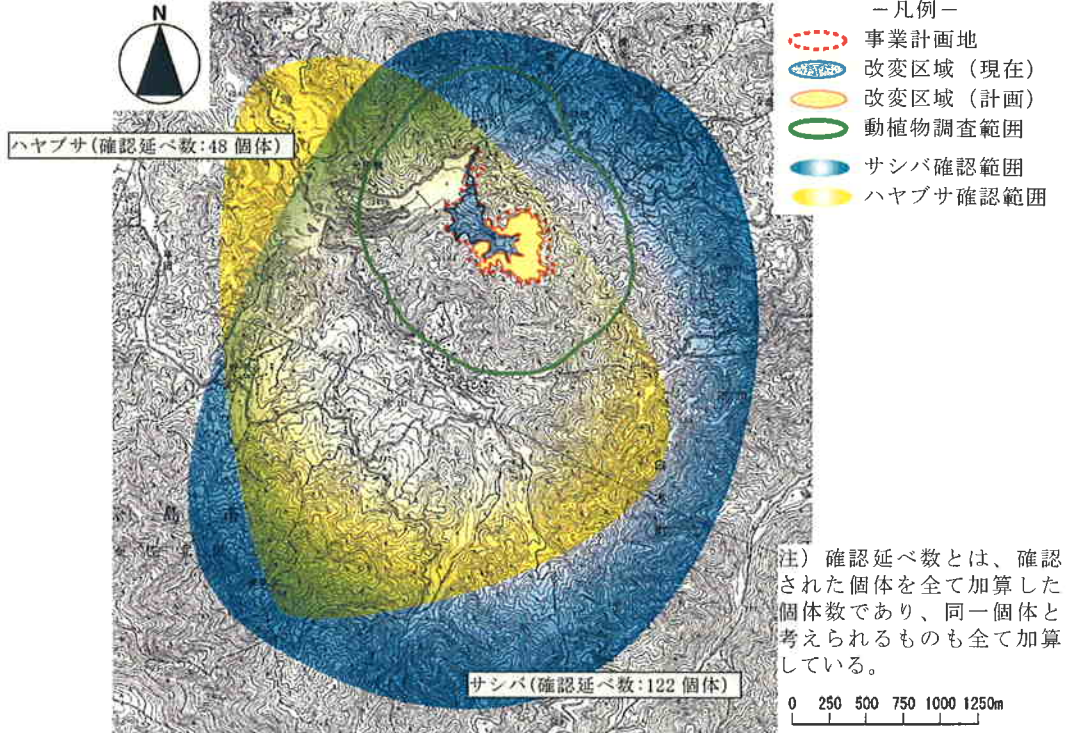
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>注) 確認延べ数とは、確認された個体を全て加算した個体数であり、同一個体と考えられるものも全て加算している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サシバ<br/>事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。</li> <li>・ハヤブサ<br/>事業計画地及びその周辺を繁殖期及び非繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>サシバ、ハヤブサは事業計画地及びその周辺を狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改変<br/>処分場の存在・供用によりサシバ、ハヤブサの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認され、確認範囲に対して消失する生息地すなわち改変区域（計画）の面積は小さく、改変区域外には広く連続した生息地が残される。また、サシバ及びハヤブサについては営巣地を確認しているが、いずれも調査範囲外であり、交尾等の繁殖に関わる行動や巣立ち後間もない幼鳥等の行動も主に調査範囲外で確認された。改変区域内では上空を飛翔する個体を数回確認しているが、いずれも通過個体であり、事業計画地及びその周辺は主要な生息地ではないと考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-30 予測結果（鳥類：ヤマドリ、フクロウ）

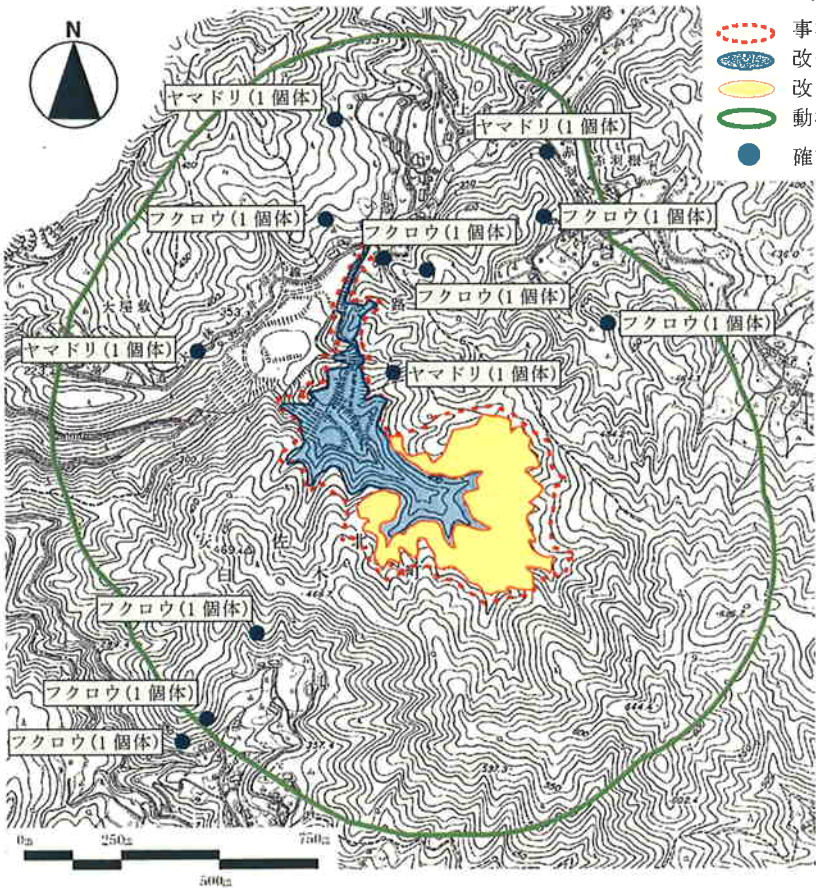
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域（現在）</li> <li>変更区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> </ul>                                                                                        |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマドリ<br/>事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。</li> <li>・フクロウ<br/>事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。</li> </ul>                                                                                                                                            |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>ヤマドリ、フクロウは事業計画地及びその周辺を営巣地または狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。</p>                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改変<br/>処分場の存在・供用によりヤマドリ、フクロウの生息地の一部を消失又は改変することになるが、両種は改変区域（計画）内では確認されていない。また、改変区域（計画）からはヤマドリが約 150m 以上、フクロウが約 350m 以上離れているため、処分場の存在・供用により両種に与える直接的な影響はほとんどないと考えられるが、生息環境の整備という観点から事業計画地内における植栽可能な場所には可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施すため、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-31 予測結果（鳥類：ホトトギス）

|                                       |                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> | <div data-bbox="383 291 1404 1187"> <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域（現在）</li> <li>変更区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> <li>変更区域（計画）で消失又は変更する生息地</li> </ul> </div> |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <p>事業計画地及びその周辺を繁殖期における営巣地または狩場として利用していると推定される。</p>                                                                                                                                                              |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>ホトトギスは事業計画地及びその周辺を営巣地または狩場として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は変更することになる。</p>                                                                                                                                   |
| <p>予測結果</p>                           | <p>・生息地の消失又は変更<br/>処分場の存在・供用によりホトトギスの生息地の一部を消失又は変更することになるが、工事完了後は速やかに事業計画地内の植栽可能な場所に可能な限り緑化を施し、自然の遷移との相乗効果で本種の餌場環境及び托卵相手であるウグイスの営巣環境の整備が可能になるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p>                                     |

表 7-9-32 予測結果（鳥類：アカショウビン）

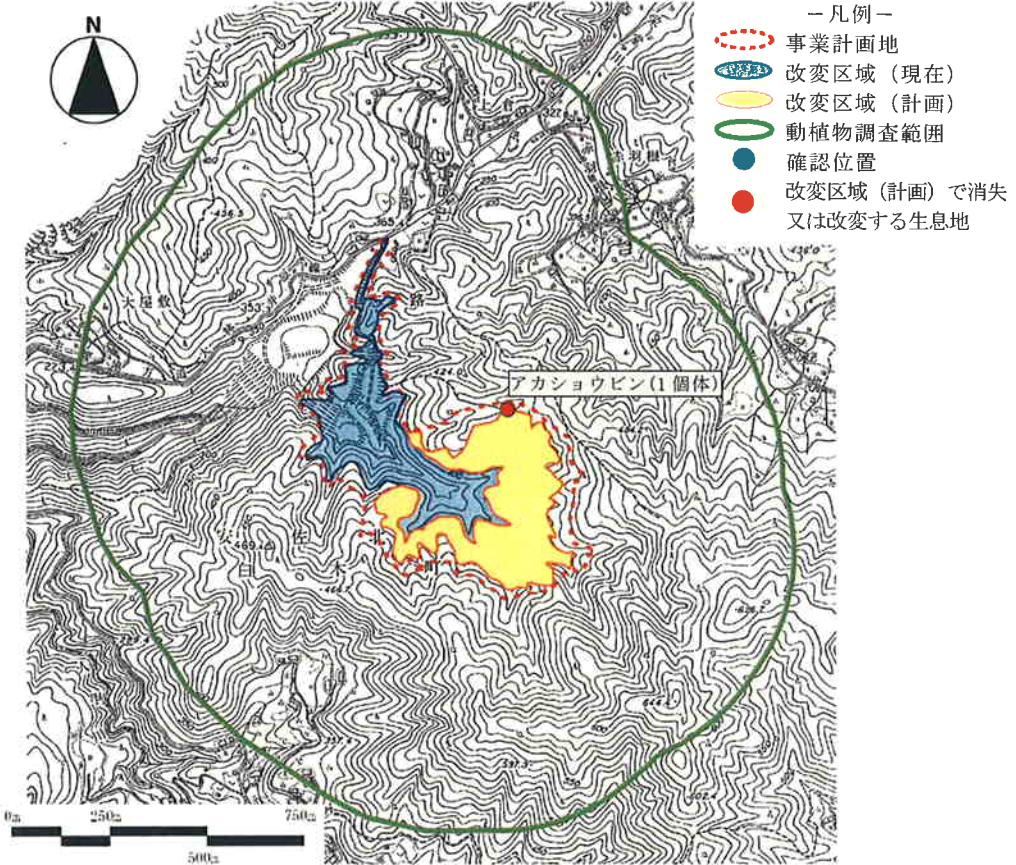
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域（現在）</li> <li>変更区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> <li>変更区域（計画）で消失<br/>又は変更する生息地</li> </ul> <p>アカショウビン(1個体)</p>                                                                                                                                     |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <p>事業計画地及びその周辺を繁殖期における狩場または移動経路として利用していると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>アカショウビンは事業計画地及びその周辺を狩場または移動経路として利用しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。また、存在・供用後の汚水、埋立土砂の流出は本種の生息環境を悪化させることになる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改変<br/>処分場の存在・供用によりアカショウビンの生息地の一部を消失又は改変することになるが、埋立完了後は速やかに事業計画地内の植栽可能な法面等に可能な限り緑化を施し、自然の遷移との相乗効果で林内環境の維持に努めることから本種の生息環境に与える影響は小さいと予測される。</li> <li>・汚水・埋立土砂の流出<br/>雨水等による処分場からの汚水、埋立土砂流出は下流域における本種の生息環境を悪化させることになるが、確認地点は変更区域（計画）より上流であり、変更区域より下流に生息した場合でも汚水が周辺の水質環境に与える影響は小さく（7.5.3 予測及び評価参照）、埋立土砂の流出は沈砂池を設けることにより、下流域への流出を防ぐことから、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-33 予測結果（爬虫類：トカゲ）

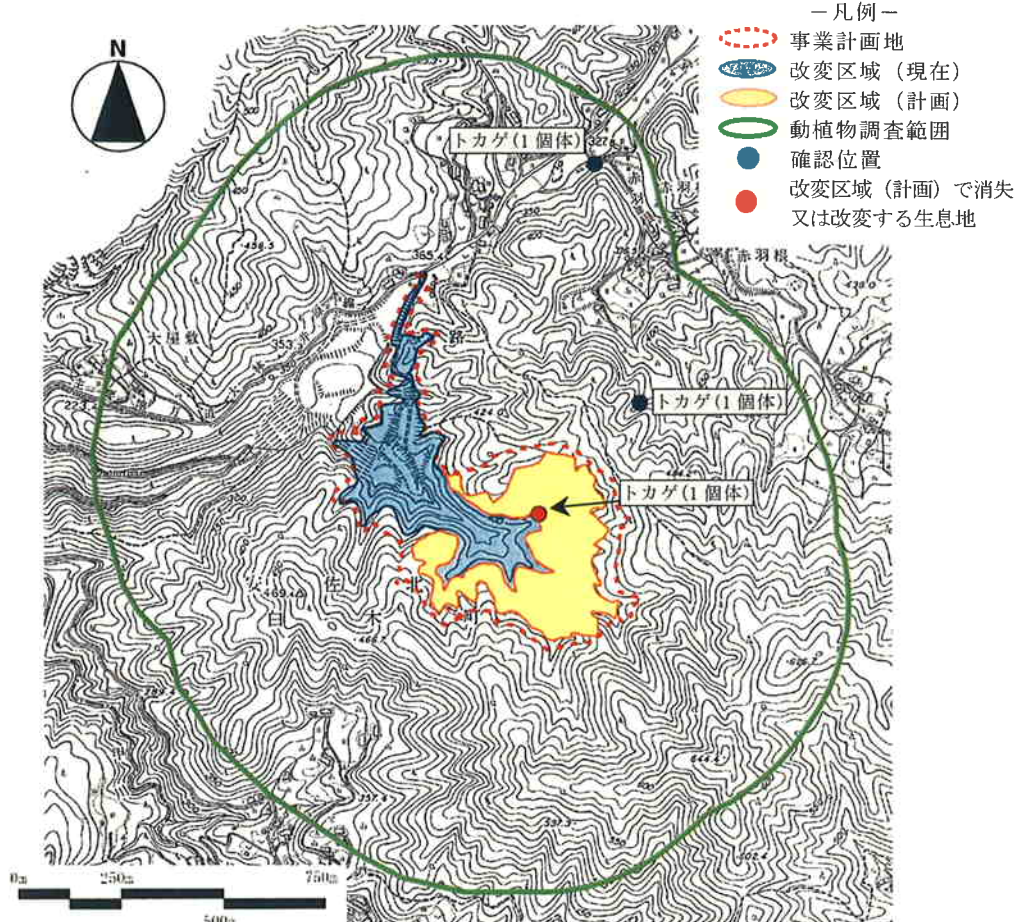
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>改変区域（現在）</li> <li>改変区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> <li>改変区域（計画）で消失<br/>又は改変する生息地</li> </ul> |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <p>事業計画地及びその周辺を生息地として利用していると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>トカゲは事業計画地及びその周辺の林縁部で生息しているため、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。</p>                                                                                                                                                                                          |
| <p>予測結果</p>                           | <p>・生息地の消失又は改変<br/>処分場の存在・供用によりトカゲの生息地の一部を消失又は改変することになるが、埋立完了後は速やかに事業計画地内の植栽可能な法面等に可能な限り緑化を施すため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p>                                                                                                                                   |

表 7-9-34 予測結果（両生類：イモリ）

|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画<br/>の重ね<br/>合わせ</p> | <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>改変区域（現在）</li> <li>改変区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> <li>改変区域（計画）で消失<br/>又は改変する生息地</li> </ul>                                                                            |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <p>事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の水田周辺であると推定される。</p>                                                                                                                                                                                              |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>                 | <p>イモリの生息地の一部は改変区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は改変することになる。</p>                                                                                                                                                                                      |
| <p>予測結果</p>                           | <p>・生息地の消失又は改変<br/>処分場の存在・供用によりイモリの生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地周辺の水田周辺であると考えられることから、改変区域（現在）内及び事業計画地外の水田周辺の生息地の確認個体数を考慮に入ると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、改変区域（現在）内及び事業計画地外の水田周辺の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p> |

表 7-9-35 予測結果（両生類：シュレーゲルアオガエル）

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計画の<br/>重ね合わせ</p> | <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域（現在）</li> <li>変更区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> <li>変更区域（計画）で消失又は変更する生息地</li> </ul>                                                                                       |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>              | <p>事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の水田及びその周辺であると推定される。</p>                                                                                                                                                                                                |
| <p>生息環境<br/>の質的変化</p>            | <p>シュレーゲルアオガエルの生息地の一部は変更区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は変更することになる。</p>                                                                                                                                                                                    |
| <p>予測結果</p>                      | <p>・生息地の消失又は改変</p> <p>処分場の存在・供用によりシュレーゲルアオガエルの生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地周辺の水田及びその周辺であると考えられることから、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、変更区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p> |

表 7-9-36 予測結果（昆虫類：トノサマバッタ、ツマグロキチョウ）

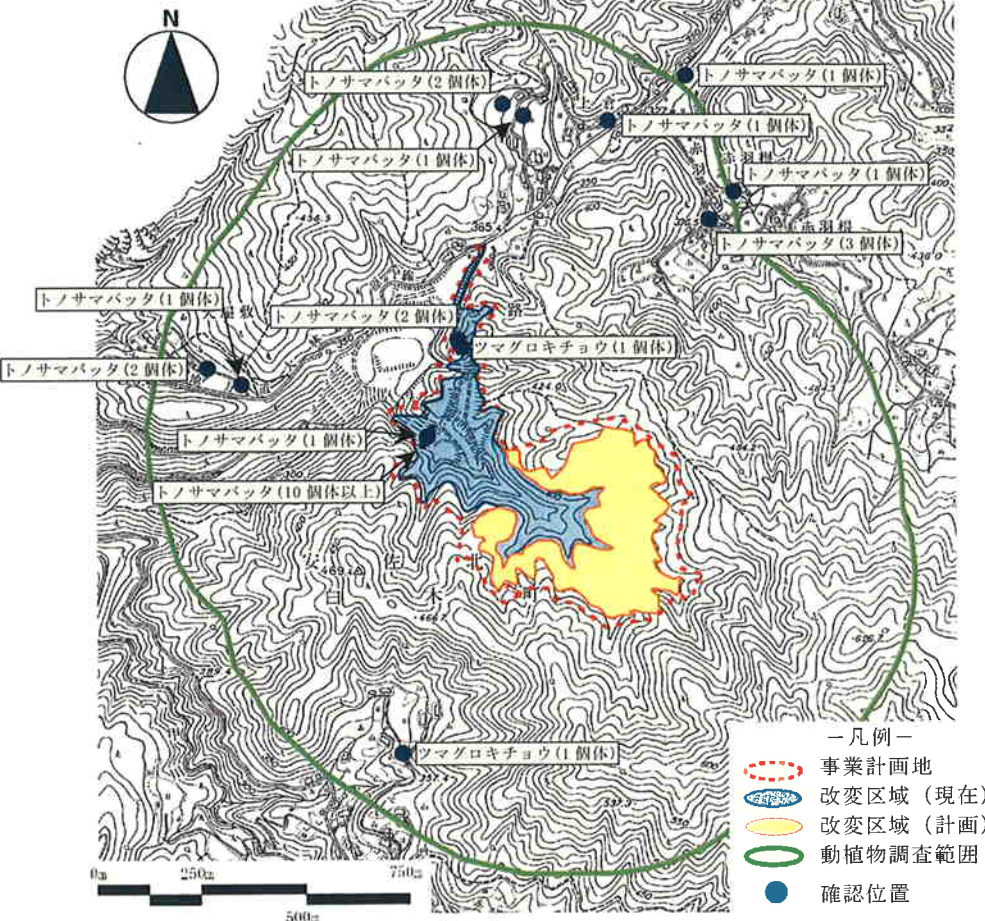
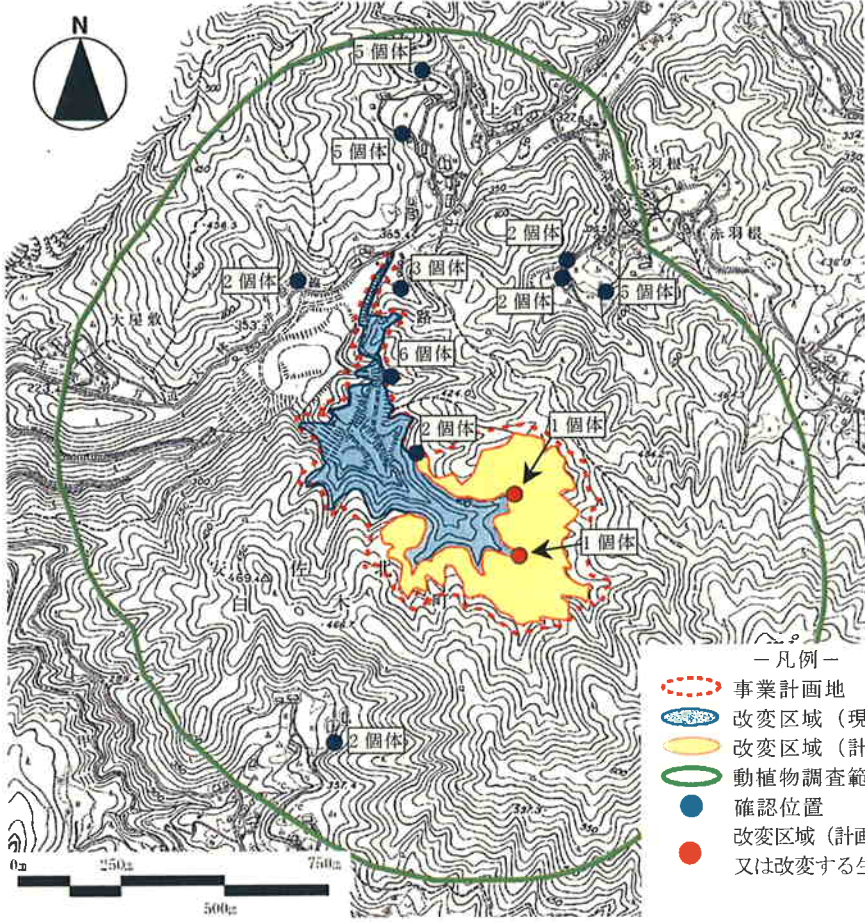
|                                       |                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布<br/>と事業計<br/>画の重ね<br/>合わせ</p> |  <p>生息分布と事業計画の重ね合わせ</p>                                                            |
| <p>生息状況<br/>の推定</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トノサマバッタ：事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の草地であると推定される。</li> <li>・ツマグロキチョウ：事業計画地及びその周辺で生息していると推定される。</li> </ul>                |
| <p>生息環境<br/>の質的変<br/>化</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トノサマバッタ、ツマグロキチョウの生息地の一部は改変区域（現在）内にあるが、改変後に整備された人工草地内であるため、事業計画の実施による両種の生息環境の質的変化は小さいと考えられる。</li> </ul>                        |
| <p>予測結果</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地の消失又は改変<br/>改変区域（現在）内及び事業計画地外のトノサマバッタ、ツマグロキチョウの生息地は存続されるため、両種の生息地の質的変化はほとんどないと考えられることから、両種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul> |

表 7-9-37 予測結果（昆虫類：ゲンジボタル）

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生息分布と事業計画の重ね合わせ</p> |  <p>—凡例—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画地</li> <li>変更区域（現在）</li> <li>変更区域（計画）</li> <li>動植物調査範囲</li> <li>確認位置</li> <li>変更区域（計画）で消失又は変更する生息地</li> </ul> |
| <p>生息状況の推定</p>         | <p>・ゲンジボタル：事業計画地及びその周辺で生息しているが、主要な生息地は事業計画地外の溪流付近の林縁、水田周辺であると推定される。</p>                                                                                                                                                                                  |
| <p>生息環境の質的变化</p>       | <p>・ゲンジボタルの生息地の一部は変更区域（計画）内にあり、事業計画の実施により、生息地の一部を消失又は変更することになる。</p>                                                                                                                                                                                      |
| <p>予測結果</p>            | <p>・生息地の消失又は改変<br/>処分場の存在・供用によりゲンジボタルの生息地の一部を消失又は改変することになる。しかし、本種は事業計画地及びその周辺の広い範囲で確認されており、主要な生息地は事業計画地外の溪流付近の林縁又は水田周辺であると考えられることから、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地の確認個体数を考慮に入れると、消失又は改変される生息地の個体数は少なく、改変区域（現在）内及び事業計画地外の生息地は存続されるため、本種の生息地に与える影響は小さいと予測される。</p>   |

### (3) 環境保全措置の検討

予測の結果を踏まえ、工事の実施及び存在・供用に係る環境保全措置の検討を行った結果は表 7-9-38 に示すとおりである。

表 7-9-38 環境保全措置の検討結果

|       | 影響内容              | 環境保全措置                                | 効果                                             | 対象種                                                                                                                        |
|-------|-------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工事の実施 | 生息地の消失又は改変        | 事業者は、植栽可能な場所に可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施す。 | 整備した環境が本種の生息地として利用されることが期待できる。                 | イタチ属の一種（哺乳類）<br>ハイタカ（鳥類）<br>ノスリ（鳥類）<br>サシバ（鳥類）<br>ハヤブサ（鳥類）<br>ヤマドリ（鳥類）<br>ホトトギス（鳥類）<br>フクロウ（鳥類）<br>アカショウビン（鳥類）<br>トカゲ（爬虫類） |
|       | 建設機械の稼動に伴って発生する騒音 | 事業者は、可能な限り低騒音型の工法を取り入れ、騒音に対して配慮する。    | 従来の生息地が忌避されず、継続して利用されることが期待できる。                | イタチ属の一種（哺乳類）<br>ハイタカ（鳥類）<br>ノスリ（鳥類）<br>サシバ（鳥類）<br>ハヤブサ（鳥類）<br>ヤマドリ（鳥類）<br>ホトトギス（鳥類）<br>フクロウ（鳥類）<br>アカショウビン（鳥類）             |
| 存在・供用 | 生息地の消失又は改変        | 事業者は、植栽可能な場所に可能な限り木本類を含めた在来種による緑化を施す。 | 整備した環境が本種の生息地として利用されることが期待できる。                 | イタチ属の一種（哺乳類）<br>ハイタカ（鳥類）<br>ノスリ（鳥類）<br>サシバ（鳥類）<br>ハヤブサ（鳥類）<br>ヤマドリ（鳥類）<br>ホトトギス（鳥類）<br>フクロウ（鳥類）<br>アカショウビン（鳥類）<br>トカゲ（爬虫類） |
|       | 汚水、埋立土砂の流出        | 事業者は、埋立土砂等の下流域への流出を防ぐため、沈砂池を設ける。      | 水域を主な生息地または利用する種が従来の生息地を忌避せず、継続して利用することが期待できる。 | アカショウビン（鳥類）                                                                                                                |

注）環境保全措置の実施に伴い生じるおそれのある新たな環境影響はないと考えられる。

#### (4) 評価

環境保全措置を現在と同様に実施することにより本事業による影響が回避・低減されているかを評価した結果は表 7-9-39 に示すとおりである。

表 7-9-39 評価結果

|     |                                                                                                                                                                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 哺乳類 | 本事業が影響を及ぼすことになる哺乳類（イタチ属の一種）は、事業者が環境保全措置を現在と同様に実施することから、影響が小さくなると予測され、本事業に伴う哺乳類への影響は低減され则认为られる。                                                                      |
| 鳥類  | 本事業が影響を及ぼすことになる鳥類（ハイタカ、ノスリ、サシバ、ハヤブサ、ヤマドリ、ホトトギス、フクロウ、アカショウビン）は、事業者が環境保全措置を現在と同様に実施することから、影響が小さくなると予測され、本事業に伴う鳥類への影響は低減され则认为られる。                                      |
| 爬虫類 | 本事業が影響を及ぼすことになる爬虫類（トカゲ）は、事業者が環境保全措置を現在と同様に実施することから、影響が小さくなると予測され、本事業に伴う爬虫類への影響は低減され则认为られる。                                                                          |
| 両生類 | 本事業が影響を及ぼすことになる両生類（イモリ、シュレーゲルアオガエル）の生息地の一部は改変区域（計画）内にあるが、改変区域（計画）外においても生息地は確認されていることから、両生類の生息は維持されるものと考えられる。                                                        |
| 昆虫類 | 本事業が影響を及ぼすことになるゲンジボタルは、改変区域（現在）及び事業計画地外の生息地が存続することから、本種の生息は維持されるものと考えられる。<br>また、トノサマバッタ、ツマグロキチョウは改変区域（計画）内で確認されず、改変区域（現在）及び事業計画地外の生息地が存続することから、両種の生息は維持されるものと考えられる。 |